

男子決勝 浦添一仲西 シュートを放つ浦添の宮城大樹＝東風平運動公園体育館(桑原晶子撮影)

# 男子浦添 成長の連覇

## 女子仲西 4年ぶり頂点

### 県中学ハンド

ハンドボールの第40回県で男女の決勝までを行い、浦添は浦添が仲西を破り、2年連続6度目の優勝、女た。子は仲西が神森に勝ち、4年ぶり9度目の頂点に立つ



浦添	39	1722	1615	31	美東
仲西	29	1415	138	21	神森
美東	29	1019	1513	28	神森
浦添	35	1817	1810	28	仲西
仲西	24	1311	6	7	13
神森	25	1015	1110	21	21
宮里	23	1013	6	12	18
仲西	29	1217	165	21	21



## 周り生かす 冷静判断

パスを回しながら守りの壁に隙を見つけ、そこから得点につなげていった。練習で積み重ねてきた攻撃の形が、本番の舞台で勝利を

の宮城大樹と左45度のポジション。アーマーク(の状態)をなるべくつくるようボールを回しながら、一本一本、偶然の動きではなく、自分で判断してやっていたと話した。チームの成長に手応えを感じた様子。

引き寄せた。男子決勝の浦添、東江功子監督は、練習の成果が「いい形で出た」と話した。

チームの柱は、センターか、パスした方がいいのか、見えてきている」と東江監督。冷静な判断で、周りを生かしたプレーができ、別々の角度から点を取られるところ

「九州、全国で上位を狙えるチームへ、練習を積み上げていきたい」と話した。(宮里努)

## 闘志前面 貫禄勝ち 仲西、全国で春の雪辱へ

女子は3月末の選手権で全国3位となった仲西が実力を見せつけ、貫禄勝ち。1月の新人大会に続いて県内を制した。試合前に「県内では簡単に負けられないという自覚を持って戦おう」と話し合ったという。

平安山笑奈主将は「しっかり守り、攻撃につなげることができた。自分たちのペースで(試合が)できたことが良かった」と振り返った。

出だしからリードし、エース上地涼奈の活躍などで、終始ゲームの主導権を握った。「気持ちで負けないよう、相手を振り切るくらい、ががつと前に出た」と上地。

後半は3年生の主力を下げ、2年生に経験を積ませる余裕も見せた。

次は中体連。平安山主将は「全国で優勝して春のリベンジをしたい」と意欲を見せた。

女子決勝 仲西―神森 ディフェンスを振り切ってシュートを放つ仲西の上地涼奈